

山岸昌一教授が日本抗加齢医学会賞を受賞



山岸昌一教授（医学部内科講座糖尿病・代謝・内分泌科学部門）が第21回日本抗加齢医学会総会で2020年度日本抗加齢医学会賞を受賞することが決定した。日本抗加齢医学会は、高齢社会のなか、人々の健康寿命を延伸させることを目的に設立された異分野の専門家や多職種の会員総勢9,000名からなる我が国でも最大規模の医学会の一つ。同学会では、抗加齢

医学に関する研究が独創的、先導的であり、抗加齢医学の進歩と発展に貢献した業績が著しく大きく、世界的にも認められた会員に対して、日本抗加齢医学会学会賞を贈呈している。

山岸教授は、研究テーマ「終末糖化産物(AGES;advanced glycation end products)とその受容体RAGE(receptor for AGEs)を標的とした心血管代謝老年病に対する包括的な治療法の開発と抗加齢医療の実践」が高く評価され、このたびの受賞となつた。

今後、2022年の第22回日本抗加齢医学会総会にて学会賞の授与式と受賞講演が行われる予定。

【山岸昌一教授のコメント】
高齢社会の中、いつまでも元気で長生きできる社会の実現に向けて、これまで活動を行つて参りました。日本糖尿病学会賞、米国心臓協会最優秀賞に続き、昭和大学病学会賞を贈呈している。

日本抗加齢医学会賞、米

国心臓協会最優秀賞に続き、

日本糖尿病学会賞、米

国心臓協会最優秀賞に続き、

日本抗加齢医学会賞、米

国心臓協会最優秀賞に続き、